

令和7年度 グループホームさいお 地域連携推進会議録

日 時；令和7年9月24日（水）11時～12時

場 所；養楽福祉会 法人本部 会議室

出席者；地域サポートセンター センター長

グループホームさいお管理者、サービス管理責任者

他法人 特別養護老人ホーム 施設長

民生委員

療育総合センター 職員

利用者保護者

利用者

1 開会・挨拶

センター長より

2 自己紹介

3 事業所の紹介

別紙参照

（1）養楽福祉会の紹介

（2）グループホームさいおの紹介

（3）地域連携会推進会議の目的と効果

4 ミニ講義

別紙参照

（1）知的障害とは

（2）自閉症（自閉スペクトラム症）とは

（3）共通する支援のポイント

（4）防災について

5 質疑応答・意見交換

（1）就労継続A型とB型とは？

就労継続支援A型事業では、障害のある方が雇用契約を結んだうえで、一般就労に近い形で働くことができる。

障害福祉サービス「キッチン高森」では、利用者が最低賃金を受けながら厨房業務に従事し、働く喜びや社会参加の意欲を高められるよう支援している。

- (2) 一方、就労継続支援B型事業では、雇用契約を結ばず、福祉的就労として生産活動や作業訓練を行う。

洗濯、清掃、内職、パン製造などの作業を通して、日中活動の場として社会参加を支援しており、平均工賃は月1万5千円～4万円程度となっている。

- (3) 障害福祉サービスは知的障害者だけなのか？

養楽福祉会が知的障害者の更生施設として開所したが、障害福祉サービスは、身体障害、知的障害、精神障害など対象となる。

- (4) 年齢の高い世話人への研修や分かりやすい支援について

今年度よりオンデマンド研修を取り入れている。2ヶ月に1回の個別支援会議で利用者の状況や支援について話し合い、支援者間で共有・フィードバックしている。GHの報酬の低さから正規職員の配置が難しいことと、知的障害利用者の高齢化、介護面や支援について課題がある。

- (5) 保護者より

市役所へ3年ごとの診断書提出のため、急きょ医者へ行ったが、すぐには書けないと話があった。毎月来てくださいと言われ、現在3ヶ月連続で受診している。GH暮らしている息子も興味のある物が沢山あり、人見知りはない。小遣い帳は10年以上自身でつけている。残業も月20時間ほどしており、定時で帰ってはと伝えても残業している。有休もなかなか使わないことがあり、会社の人に説得されて休むことがあった。保護者の目線で本人の特性や様子を話された。

地域サポートセンターとして、困ったことは連絡を取り合い、相談していただければと伝える。

- (6) 災害の心配

さいお地区の高齢化も進んできている。特別養護ホームは介護度も高く、有事の際は、マンパワー不足、現実的に避難所等へ避難することが難しい。地盤的には大丈夫なため、事業所で完結することになっている。

包括とも連携・把握し、福祉事業所に対応していく。

6 その他

- (1) 施設見学日について

ア グループホームさいお：11月20日（月）11時